

東京エレクトロンホール宮城大ホールを御利用の皆様へ

日頃より、当館を御利用いただきありがとうございます。

「宮城県における新型コロナウイルス感染症対策（9月19日以降）」における「催物（イベント等）開催について」に基づき、令和2年9月19日から11月末までの大ホール利用に当たって、収容人数を以下のとおり取り扱うこととしますので、お知らせいたします。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き皆様に御理解・御協力をお願いする事項についても、合わせてお知らせいたします。

なお、今後の発生・感染状況を踏まえ、下記の取り扱いは急遽見直しを行う場合がございます。

1 収容人数について（令和2年9月19日から11月末まで）

- ① 大声での歓声、声援等がないことを前提としうる場合（例：クラシックコンサート、歌舞伎、雅楽、落語、研修会、式典等）

次の全てを満たす場合に限り、座席数の上限を100%（1590席）とします。

- ・ これまでの当該イベントの出演者等による類似のイベントの開催実績において、参加者が歓声、声援等を発し、又は歌唱する等の実態がみられていないこと（開催実績がない場合、類似の出演者によるこれまでのイベントに照らし、観客が歓声、声援等を発し、又は歌唱することが見込まれないこと）。なお、この要件に該当することについて、過去の開催実績に基づく十分な説明が行われない場合は、この要件に該当しないものとします。
- ・ これまでの開催実績を踏まえ、来場者全員がマスクの着用すること、大声を出さないことを担保し、併せて個別の参加者に対して別紙「感染防止のチェックリスト」に定める感染防止対策の徹底が行われること。
- ・ 発声する演者と観客間の距離が適切に保たれている等、全国公立文化施設協会により示された感染拡大防止ガイドラインに則った感染防止対策が実施されること。

- ・ ただし、宮城県の感染状況やイベントの態様に応じて、ロビーや建物周辺、公共交通機関の三密が避けられない場合などには、上記に示した座席数を下回る範囲で三密の回避可能な座席数に制限することがあります。
- ・ 立ち見席は設けられません。

- ② 大声での歓声、声援等が想定される場合等（例：ロックコンサート、ポップコンサート、キャラクターショー、親子会公演等）

前記①に該当しない催物は、原則として座席数の上限を50%以内（795席）に制限します。

- ・ 座席は、原則として指定席とし、適切に感染予防措置がとれる席配置（前後左右を空席にする市松模様状の利用）としてください。

- ・ 親子席等のグループ席又は個人間では座席を一席は必ず空けることとしますが、同一グループ（5名以内に限る。）内では座席等の間隔を設ける必要がないとされることから、参加人数が、収容定員の50%を超える場合も認められます。
- ・ ただし、別紙「イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置」及び別紙「感染防止のチェックリスト」に定める開催制限の緩和を適用する場合の条件等が担保されていない場合、座席上限は50%以内です。
- ・ いずれの場合も、立ち見席は設けられません。

2 運営にあたっての依頼事項

- ・ 各楽屋は定員の50%以下で使用願います。
- ・ 浴室はシャワーのみ使用できます。
- ・ 来場者の氏名及び緊急連絡先を把握するよう願います。
- ・ やむを得ない場合を除き、常時マスクを着用願います。
- ・ 発熱や咳等の風邪症状が見られる場合は入館をお断りします。

3 開場・開演・終演時の依頼事項

- ・ 開場時の密集などによる混雑を避けるため、余裕のある入場時間や休憩時間を設定願います。当館は市中にあり、入場待機列のための十分な場所を確保することができません。特に、全席を販売する公演の場合は、来場者が密集したり歩道を塞いだりすることのないよう、座席によって開場時間を変更する等の分散入場対策を行ってください。なお、このような対策のため開場時間を早めた場合、追加料金は発生しません。
また、終演時の混雑を避けるため、規制退場等を実施願います。
入退場における三密回避が難しい場合、回避可能な座席数としてください。
- ・ 入場時に検温を実施してください。当館では来場者用のサーマルカメラ2台を無料で貸し出しています。
- ・ 入場時のチケット確認（もぎり）は簡素化願います。
- ・ 物品の販売は原則として通信販売等を利用願います。開演中にやむを得ず実施する場合は、2階ロビー内のみで行い、購入者の列は十分な間隔（2mを目安）を確保してください。
- ・ 開場・休憩時間は、客席及び入場口の全ての扉を開放し、換気に努めてください。
来場者が多くロビーが混雑しているときは、マスクを着用し会話を控え、密集密接を避けるため自席に戻るようアナウンスしてください。
- ・ 本番中は可能な限り入場口の扉を2か所以上常時開放し、換気に努めてください。
- ・ 途中休憩を設ける場合は、ロビーやトイレの三密回避の対策を講じてください。回避が難しい場合、回避可能な座席数としてください。
- ・ 全席を販売する場合は、大声の抑止のため、個別に注意、対応ができるよう人員を配置する等の体制を整備してください。

4 来場者への開催前の周知事項

下記について、ホームページやSNS等を用いて事前周知願います。

- ・ マスクを着用すること。

- ・ 大声での歓声、声援及び歌唱等は避けること。
- ・ 発熱や咳等の風邪症状が見られる場合は参加しないこと。
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）、みやぎお知らせコロナアプリ（MICA）のインストールすること。

5 来場者への開催中の周知事項

下記について、掲示や場内アナウンスを用いて周知願います。

- ・ アルコール消毒液で、手指消毒をしてから入館すること。
- ・ 公演中は常にマスクを着用すること。
- ・ 大声での歓声、声援及び歌唱等は避けること。
- ・ 参加者同士の間隔をできるだけ（2 mを目安）開けること。

6 感染が疑われる者が発生した場合の対応策

- ・ 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに隔離してください。
- ・ 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
- ・ 速やかに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。

【新型コロナウイルス感染症 仙台市・宮城県健康電話相談窓口（24 時間受付）】

TEL（0 2 2）2 1 1－3 8 8 3／（0 2 2）2 1 1－2 8 8 2

7 場内を消毒する場合の注意事項

ロビー、客席、楽屋等を消毒する場合は、下記に注意して実施願います。

- ・ 館内で次亜塩素酸ナトリウムの希釈液を作成する場合は、楽屋トイレのスロップシンクで行うこと。
 - ・ 次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて拭き上げ清掃を行う場合、適切な濃度（0.05%）の溶液で清掃をしないと、消毒が不十分であったり、布製品が脱色したりする場合があるので、適切な濃度の溶液を用いること。
 - ・ 清掃にあたっては、次亜塩素酸ナトリウム溶液を備品類に直接吹きかけず、タオル等に吹きかけて清掃すること。
 - ・ 金属部分（手すり、ドアノブ等）は原則としてアルコールを用いて消毒すること。次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて拭き上げ清掃する場合、金属が腐食することがあるので、消毒後必ず水拭きをすること。
 - ・ 次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒薬の噴霧は、吸引すると有害であり、効果が不確実であることから行わないこと。
 - ・ 次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて清掃する場合は、十分に換気をしながら行うこと。
- ※消毒の臭いが残る場合があるので、影アナウンスで消毒したことをアナウンスしても良い。
- ・ 主催者控室内の備品（もぎり台、パイプ椅子、長方卓等）は使用後に消毒の上返却すること。
 - ・ 2回公演の場合、1回目の公演終了後の清掃はトイレ以外の座席、ドア、手すり等客席周辺を重点的に消毒する。

※2回公演の場合、当館の清掃員は1回目公演終了後トイレから清掃するため。

8 大ホール舞台作業等に係る依頼事項

① 出演者、スタッフ等について

- ・ 出演者、スタッフ、アルバイト等の氏名と連絡先を記入した名簿を作成し、一定期間保管願います。
- ・ 出演者やスタッフのマスクの着用、消毒液での定期的な手指の消毒、入館時前の検温や使用中の定期的な検温を実施してください。
※打合せや下見等でも上記対策をお願いします。
- ・ 作業時には軍手や手袋を着用願います。
- ・ 舞台上では、必要以上の大声や私語は控え願います。
- ・ ソーシャルディスタンスを保持し、出演者、スタッフ等の密接を避けてください。
- ・ 汗による飛沫感染を防止するため、適宜冷房を使用願います。
- ・ 公演の際は、客席との十分な距離（2 m以上）を空けてください。
- ・ 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- ・ 客席内で演奏や演技するなどの演出を行う場合は、客席との十分な距離を空けてください。
- ・ 利用中に発熱や咳、咽頭痛などの症状が見られた場合は、速やかに会館職員に報告願います。
状況により、公演中止や中断等の措置をとる場合があります。

② 舞台設備等について

- ・ 貸出備品に関しては通常の清掃を行っています。共用備品の使用に不安を感じる場合は、お持ち込みいただくか、会館職員の承認を得て備品を消毒することができます。
なお、当日の使用状況に応じ、使用後に備品を消毒して返却していただく場合があります。
- ・ 管楽器の演奏を行う際は、舞台や平台に唾液が浸透することを防止するため、各自受け皿等を用意願います。

③ 換気及び冷暖房設備について

- ・ 舞台、客席、楽屋及び周辺共用部は、外気を取り入れる換気設備を作動させています。
外気温と室内温度に大きな差が生じると、床や壁に結露が生じ、大変危険な状態となります。
舞台及び楽屋の冷暖房設備を使用する場合は、外気温と大きな寒暖差が生じないように、徐々に温度を変更するようにお願いします。
- ・ 換気の効率を上げるため、地下楽屋付近通路のドアを一部開放していますので、御理解と御協力をお願いします。
- ・ 地下楽屋使用時は、換気の効率を上げるため、できる限りドアを開けて使用願います。

【問い合わせ先】

東京エレクトロンホール宮城
事業課大ホール担当 / 舞台課
TEL (022) 225-8641
FAX (022) 223-8728
E-mail kenmin@miyagi-hall.jp

イベント開催制限緩和にともなうリスクを軽減するための措置

- 消毒の徹底**（感染リスクの拡散防止）

- マスク着用**の担保（感染リスクの拡散防止）

マスクを持参していない者がいた場合は**主催者側でマスクを配布し、着用率 100%を担保**

- 参加者及び出演者の制限**（感染リスクの拡散防止）

有症状者の出演・入場を確実に防止する措置の徹底（**検温の実施**、有症状の出演者は出演・練習を控えること、主催者が**払い戻しの措置等を規定しておくこと等**）

- 参加者の把握**（感染リスクの拡散防止）

事前予約時又は入場時に**連絡先を確実に把握**することや、**接触確認アプリ（COCOA）**や**各地域の通知サービス**のダウンロード促進等の**具体的措置**を講じること（例：アプリの QR コードを入口に掲示すること等）

- 大声を出さないこと**の担保（大声の抑止）

大声を出す者がいた場合、**個別に注意、対応等ができるよう体制を整備**（人員を配置する等）スポーツイベント等では、**ラッパ等の鳴り物を禁止し、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備**

- 密集の回避**（イベントの入退場や休憩時間における三密の抑止）

入退場列や休憩時間の密集を回避する措置（人員の配置、導線の確保等）や**十分な換気休憩時間中及びイベント前後の食事等での感染防止**

入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、目安の人数上限等を下回る制限の実施

- 演者・観客間の接触・飛沫感染リスクの排除**

演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせること

- 催物前後の行動管理**（交通機関、イベント後の打ち上げ等における三密の抑止）

公共交通機関・飲食店等での密集を回避するために、**交通機関・飲食店等の分散利用**を注意喚起、可能な限り、**予約システム等の活用により分散利用を促進**